

八月十八日

今日もうつとおしい雨模様。いったいどうしてしまったのだろう気候は。十時全体ミーティング、三〇分で終了。十三時ワールド・フォト・プレス（グリーン・アロー）小川氏来室。連載セルフ・ビルドの打合わせと出版の件。次期連載の話し。十四時突然森本組秋山甚四郎氏来室。十九時前九州の住宅のプレゼン作業を見る。淡路島の山田脩二より瓦プロダクトごっそり送られてくる。

八月十九日

朝七時起床。昨日持ちかけられた来年からの新連載について考えてみる。十時大学、諸々の雑用片付ける。淡路島に御礼の電話入れてみたら山田脩二は今、東京に居るとの事。昼食を共にする事となる。山口勝弘先生に電話、来週お目にかかる事とする。今日くらいから休みモードを切り替えてゆかないと体が言う事をきいてくれない。

十二時四十五分大久保駅前のいつものソバ屋で山田脩二と会う。聞けば日本文化デザイン賞の受賞が決まったらしくそれで東京に出てきたらしい。八月三十一日に何かセレモニーがあつて、それで大賞が決まるとの事。この賞はいつだったか鈴木博之の肝入りでもらった事がある。黒川紀章氏が代表で取仕切っている会が出している賞だ。何はともあれ、そんな事で山田脩二が、どんなモノであれ賞の対象になるのは大変お目出度い。それで又もや昼か

らダツタンしようちゆうを何杯も飲んでしまい、昼からホ口酔い気嫌になつてしまった。山田脩二からは森正洋先生との組み合わせで、瓦製の器を世に出す事の了解は得た。ガキ、学生のレベルの生活雑器とは背景の重みがまるで異なるからね。学生レベルのサークル人間は自然に年を経る毎に実践者としての大人になるわけではないことを知し。つまり、誰でも小林秀雄言うところの実行者になれるわけではない。山本夏彦言うところのロバは永遠にロバのままなのだ。十九時五反田日本デザインセンター。鈴木博之夫妻と会う。フィンランド建築展のシンポジウムというかトークショーのようなモノ。久しぶりに建築業界の人々に会う。こういう処では私は身の置き様が無い。フィンランド建築博物館長等あちらであつた人々にも再会した。が、鈴木が来いヨと言わなければ来るところでは無かつた。二十二時前新宿駅西口で明日の九州でのプレゼンテーション模型を森川から受け取り、世田谷村に戻る。今、京王線車中でメモを記している。

八月二〇日

ANA249便で福岡へ。4日間の九州巡回である。雲の上に出て久しぶりの青空を見る。先程羽田空港の書店で4日間の読書と思つて本を求めようとしたが、読みたい本が無かつた。十二時四〇分福岡空港、忍田さん迎えて下さり、車で忍田宅へ。途中オムライス喰べる。プレゼンテーションはまずまずであつたが、更に具体的な要求をうかがう。十六時過模型を持って敷地へ。修正しなくてはならぬ点がいくつか浮き彫りになる。オリエンテーションと土地形状の若干の複雑さを把握するのに手間取る。十七時過博多ハイアット・リージェンシーHOTELチェック・イン。スケッチ十八時半迄。ロビーで研究室OB高木と会う。十九時前

高木と春吉橋のまめ丹へ。久し振りにうまい魚を喰べた。まめ丹のおばちゃんも元気そうで何よりであった。よくたべて二十一時HOTELに戻る。忍田さんは明日早朝よりギリシャ行である。サントリー二にも行くそう、うらやましい。

八月二日

夜半二時半起き出して、スケッチ。四時半迄スケッチ続ける。浄水という地名と水中心の場所イメージが頭の中に巣喰ってしまっている。風呂でも使って頭を冷やそう。九時前、再びスケッチHOTELに一人いると仕事がかどる。十二時前チエック・アウト。空港へ。駅まで歩く。陽光が目には痛い。地下鉄で福岡空港へ。博多とんこつラーメンと明太子飯を喰べる。十三時四〇分JAS便で宮崎へ。定刻通り十四時二〇分宮崎空港着。藤野忠利氏迎えて下さる。暑い。三十二度Cとの事。早速現代っ子ギヤラリーへ。野田工務店、清水左官と左官工事の補修に関して打合わせ。すぐに結論を出す。現代っ子ギヤラリー補修展を開催する事にする。年内に補修部分の土を落し、そこに絵を描いてみることにした。面白そう。十七時プラザホテルにチエックイン。温泉に入り一休み。十九時前現代っ子センターに歩いて行く。会食。二十時半ホテルに戻る。

八月二日

十時過現代っ子ミュージアム。キンヤの美味しいコーヒーと甘味をいただく。今年の東京では想っても得られぬ痛烈な日差しが中庭に差し込んでいます。付属レストランを運営している次女力オリさんと色々とおしゃべり。ナオミ・キャンベルからのメールを見せられたりで面白かった。ナオミ・キャンベルと現代っ子ミュ

ージアムは昨年のメール・アート展で、確か作品が送られてきた。うんぬんは記憶にあつたが、ついチヨツと前のN・Y大停電を楽しんでいるナオミ・キャンベルからのメールを見て、情報が距離を消してしまつた事を痛切に実感した。それにしても藤野ファミリーとナオミ・キャンベルが親しい知り合いだったとは・・・。私もミーハーだな。石川県から自転車で来たという学生がいた。十一時半前、藤野さんに宮崎空港まで送っていただく。JAS便にチエック・インしているうちに、明日の佐賀東京便のチケットを失くしてしまい、再発行も面倒くさいなと考えていたら、836便の改札口で失くしたチケットを渡されてホツとした。誰かが拾って届けてくれたのだろう。こういうシステムは増々進歩して人間の力は増々弱くなっているんだと思う。定刻十二時二〇分出發。今日は佐賀泊りだ。福岡空港ではW・Bの榎藤君が迎えにくてくれている筈である。榎藤氏高木夫妻と福岡空港で。すぐに佐賀へ。HOTELニューオータニにチエック・イン。うどんを喰べに行つて私はHOTELで六時前までスケッチ。佐賀は何が変わりなく静かだ。藤野さんにスケッチ二枚送る。十九時前、久し振りの、おさむで会食。

八月三日

今日が九州巡行の最終日。のんびりと休めた様な徒労の様な4日間であった。今日の集まりでは地元の人々に失礼のない様に注意したい。森正洋先生がどんな心境でおられるのか知りたいところだ。しかし、佐賀の変わり無さには驚いた。人間だけが年を取ってゆくな。高木もああいう附合い方で大丈夫かな。東京に帰つたら栄久庵さんに連絡してみよう。佐賀では三年間本当に色んな人に世話になった。何かの形で返せるモノは返さなくてはいかん

な。ワークショップは上海、カンボジア、キルティプールと展開してゆくのだが、それをどういう形でまとめられるかだろうな。しかし、何故、建築づくりだけに打ち込むライフスタイルをとらなかつたのか、我ながら不可思議だ。人間嫌いなのに、その人間に関心があり過ぎるといえば体は良いが、要するにシンブルに生きる強度が少し欠けているだけだ。森先生に今日はバーチャル・ギャラリー「森正洋の世界」開設に同意していただく事だけはお願いしなければならぬ。

十時五〇分権藤君HOTELに。久留米の富松までウナギを食べに行く。十三時願正寺シンポジウム会場。森先生先に着いていた。古川佐賀県知事と会う。若い。政治家に若さは特権だな。筒井泰彦氏司会、古川知事、森先生、私のパネリスト。十六時過終了。権藤君に佐賀空港まで送ってもらう。二日間権藤君には世話になった。十八時十五分発の便で東京へ。空港の二Fのレストランから眺める茫々たる原っぱ状の空港の風景は中々良い。オリンピック前のバルセロナ空港がこんな風な原っぱであった。今十九時半飛行機は高度を下げ始めた。

八月二四日 日曜日

十時半前、新宿発さいたま市指扇 5朝山邸現場へ。埼京線で十二時頃指扇の現場着。TVプロダクション・ルーカスの連中が居た。十三時頃人が集まり始める。富士市の鈴木さん来訪。十三時半、四十五分程のレクチャー。七〇名位かな、聴いてくれた人は、このスタイルの集まりはスタッフに任せていたら上手くいきにくい事がよく解った。